

受験番号	
------	--

平成31年度 一般入学試験B日程 小論文課題

〔設問〕

次の文章を読んで、下線部についてのあなたの考えを600字以内で述べなさい。

「参加メンバーに意欲がある」というのは、言い方を変えれば「それぞれに当事者意識がある」ということでもあります。チームとして思考を重ねて新しい現実を生み出していくためには、一人ひとりが本当の意味で「参加」する、つまり役割をそれぞれ担っていく必要があるのです。「take part in」の意識ですね。パートを担う。そういう意識を持つてのぞむのが当事者意識ということです。

「誰かがやってくれるだろう」「とりあえずやり過ごしておけばいい」という参加の仕方と違って、当事者意識を持って役割を担った場合、多く人は急に「このままどううまく実現しないかもしれない」という不安を持つようになります。バーベキュー大会一つとっても、これまで世話役を買って出て準備を一手に引き受けてくれていた人が急病で来られなくなったら、他の参加者たちは突如として「予算は足りるだろうか」「当日来ない人がいるのでは」「食材は足りているのかしら」と気になり始めることでしょう。何ごとを成すにしても、当事者意識があるとないとでは、気持ちの負担がまったく変わってくるのです。

例として、日本でも二〇〇九年から導入された裁判员制度を考えるとわかりやすいでしょうか。もし裁判员になったら、司法のプロではない普通の市民である私たち一人ひとりが、何を罪とするのか、それがどれくらいの量刑になるかということ、まさに当事者として考えなければならない。一人の人間を死刑にするのかどうかといった重大な決断を迫られることさえあるのです。

これは少し極端な例ではありますが、どんなことであっても、自分の判断によって他の人の人生に影響を与え、現実が変わってしまうとなったら、誰でも責任感や恐怖心を感じるはず。逆に言えば、そういうものをまったく感じないということは当事者意識がないということでもあるでしょう。

言うまでもなく、本物の<考える力>というものは、この「自分が当事者だ」という覚悟の上に初めて生まれてくるものです。人任せにしない。自分で判断する。その重みを引き受けてこそ、初めて新しい現実を生み出すことができるのです。